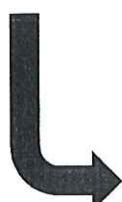


## 学校心臓検診調査票への記入方法について

## 児童生徒についての質問

- ◇質問A～Hでは、お子さまがこれまでかかった病気について、現在、病気を疑うような症状を感じていないかをお尋ねします。
- ◇全ての質問に「いいえ」か「はい」に✓を付けてください。
- ◇各質問にお子さまが当てはまるかどうかを、以下の留意点を参考にしてお答えください。  
不確かな場合やどちらか迷う場合には「いいえ」に✓を付けます。

	質問項目	留意点
A	生まれつきの心臓病と診断されている	<p><u>生まれながらの心臓病(先天性心疾患)の診断を受けたことはありますか？</u></p> <p>◇代表的な先天性心疾患 心房中隔欠損症(ASD)、心室中隔欠損症(VSD)、動脈管開存症(PDA)、房室中隔欠損症(AVSD)、大動脈縮窄症、ファロー四徴症(TOF)、両大血管右室起始症、完全大血管転位症、単心室、肺動脈弁狭窄症 など</p> <p><u>※これまでの手術のありなしにかかわらず、多くは成人先天性心疾患として生涯にわたる定期的な専門医受診が望まれます。</u> <u>是非、この機会に病名を再確認してください。</u></p>
B	A以外の心臓の異常を指摘された	<p><u>これまでに病院や学校検診などで、心臓の雑音や脈について異常を指摘されたことはありませんか？</u></p> <p>◇具体例 乳幼児健診・医院などで“心雜音が異常である”と指摘された 小・中学校の健診時に“不整脈(脈がおかしい)”と言われた “心電図に異常がある”と言われた 上記とは別の“気になる指摘”をうけた</p> <p><u>※不整脈のなかには命に関わる危険なものが含まれます。</u></p>



質問A・Bにお子さまが当てはまるか	
● 当てはまる	◇「はい」に✓を付け、右の追加1も回答します。 続いて、質問Hまですべてお答えください。
● 当てはまらない	◇「いいえ」に✓を付けます。 続いて、質問Hまですべてお答えください。

質問項目		留意点
C	川崎病にかかったことがある	<p><u>川崎病と診断されたことはありませんか？</u></p> <p>◇川崎病は乳幼児がかかる代表的心臓病です。 小学生でかかる場合もありますが、適切な治療により、ほとんどの方は普通に運動ができるようになります。 まれに、心臓に酸素/栄養をおくる大事な血管(冠動脈)に「動脈瘤・こぶ」ができ、後遺症となる方がいます。 そのため、川崎病にかかると少なくとも5年は医師による経過観察が必要です。</p> <p>◇この検診の対象者は6歳、12歳、15歳が中心です。 そのため、すでに罹患後(川崎病のあと)5年以上が経過している方がほとんどと思われます。したがって、この調査票では<u>罹患後5年はきちんとかかりつけ医の検診を受けたかを確認します。</u></p> <p>※少数の“継続して専門医受診が必要な方”と、 大半の“継続した検診は必要ない方”を分けることが目的です。</p>
D	急に心臓がドキドキして不安を感じたことがある	<p>心臓が急に「ドキドキ」「バクバク」するといった“動悸の症状”はありませんか？</p> <p>◇緊張したり、興奮したり、運動時には、自然と脈(鼓動)ははやくなりますが、<u>病気ではありません。</u> <u>心配なのは、上のような思い当たることがないにも関わらず急に心臓が「ドキドキ」「バクバク」する感じを経験する方です。</u></p>
E	突然倒れて気を失ったことがある	<p>思いあたる理由なく突然倒れた/気を失ったことはありませんか？</p> <p>◇一瞬のたちくらみではなく、歩いているときや運動時に倒れたなどが心配です。 ※大切※ ここでは熱中症によるものや熱性けいれん(乳幼児期),てんかん発作といった神経の病気は含みません。</p>
F	ぜんそく発作ではなく、急に胸が苦しくなったことがある	<p><u>心臓病を疑う“胸の痛み”はありませんか？</u></p> <p>◇いろいろな場面で、胸が痛いと感じることがあるでしょう。 痛みを感じる時間はさまざまですが、この検診では心臓が原因で胸が痛い、苦しくなる方を探しています。</p> <p>(次ページにつづく)</p>

質問項目		留意点
F	ぜんそく発作ではなく、急に胸が苦しくなったことがある	<p>(前ページのつづき)</p> <p>◇おとなでは、 “5分から20分程度のおも苦しい胸痛(狭心症、不安定狭心症)”、 “運動時におこる胸痛(労作性狭心症)”、 “20分以上の冷や汗が出るような激しい胸痛(心筋梗塞疑い)” などが多いですが、こどもには少ないようです。</p> <p>◇“20秒以内のチクチクする痛み”、“さわると痛む”、“咳がひどくて痛む”などは<u>心臓による痛みではないことが多いです。</u> ただ、心配な方は“ある”に✓をいれてください。</p>
G	睡眠時無呼吸症候群を疑う症状がある	<p><u>心臓に負担をかける“睡眠中の異常な呼吸:睡眠時無呼吸症候群”ではありませんか？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から、寝ているときのいびきがひどい</li> <li>・睡眠中に息が止まるようなことがある</li> <li>・食後すぐでもないのに日中にも眠気が強いなど</li> </ul> <p>これらは“睡眠時無呼吸症候群を疑う症状”で、心臓に負担がかかっているかもしれません。 <u>睡眠時無呼吸症候群の簡易チェックシートでチェックしてみましょう。</u> 肥満・喉の扁桃腺肥大などと関係することがあります。</p>



質問 C～H にお子さまが当てはまるか	
● 当てはまる	<p>◇「はい」に✓を付け、右の追加2も回答します。 続いて、質問 H まですべてお答えください。</p>
● 当てはまらない	<p>◇「いいえ」に✓を付けます 続いて、質問 H まですべてお答えください。</p>

質問項目		留意点
G	「ふとりすぎ/やせすぎ」が気になるので診察を受けたい	<p>「ふとりすぎ」または「やせすぎ」が気になり、 “<u>医師の診察を希望する方</u>”はお知らせください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由ははっきりしないが、短期間に体重が著しく増減した方</li> <li>・とにかく体重がとても気になっている方</li> <li>・ダイエットや運動量の増加で、著しく体重が減った方</li> <li>・受験等による運動量の低下や食べ過ぎなどで、著しく体重が増えた方など</li> </ul> <p>※「はい」と回答した方には、精密検査関係書類を後日お届けします。 お近くのかかりつけ医(内科など)を受診してください。</p>



質問Gにお子さまが当てはまるか	
● 当てはまる	◇「はい」に✓を付けます。 続いて、質問Hまですべてお答えください。
● 当てはまらない	◇「いいえ」に✓を付けます 続いて、質問Hまですべてお答えください。

### ご家族についての質問

お子さまのご家族(両親・祖父母・兄弟姉妹)が、これまでかかった病気についてお尋ねします。

◇8つの病名の中に、あてはまるものがある場合のみ右の欄の「はい」に✓を付けてください。

◇「はい」の場合、該当するご家族に○を付け、病名にも✓を付けます。

該当するご家族・病名が不確かな場合や迷う場合は、「いいえ」に✓を付けます。

	質問項目	留意点
H	ご家族に以下の病気と診断された方がいる	<p><u>ご家族がこれまでかかった8つの病気(いずれも特殊な病気)についてお尋ねします。</u></p> <p>◇8つの病気は、血縁における遺伝の可能性があります。 現在、お子さまが元気であっても、一度は専門医を受診し、その病気に関する診察をお勧めします。</p> <p>◇病名がはっきりしていない場合は、✓をつけてください。 ただし、突然死や重い後遺症のある家族がいて、その原因がはっきりしない場合には、「原因不明の突然死、または重い後遺症」に✓を付けてください。</p> <p><b>【よくある間違い】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥大型心筋症…単なる心肥大、左室肥大、右室肥大とは異なります。</li> <li>・肺高血圧症…いわゆる高血圧症とは異なる特別なものです。</li> </ul>



質問Hに当てはまるか	
● 当てはまる	◇「はい」に✓を付け、右の追加2も回答します。 <del>続いて、質問Iまですべてお答えください。</del>
● 当てはまらない	◇「いいえ」に✓を付けます <del>続いて、質問Iまですべてお答えください。</del>

## ◎追加1・2の質問について

	質問項目	留意点
追加 1	質問AまたはBの内容と 今の状況について詳しくお尋 ねします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心臓病手帳などの病院を受診した結果や記録などを手元に 準備します。</li> <li>●質問AまたはBの詳しい内容(診断された年齢・病名・病院名) の3点をそれぞれ記入します。</li> <li>●さらに、お子さまの現在の状況を①、②、③の中から選び、 年月も記入します。</li> </ul>
	●診断されたときの年齢	<p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生まれて間もなく診断された ⇒ 0才</li> <li>・小1の検診で診断された ⇒ 6才</li> </ul>
	●病名または指摘された内容	<p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心室中隔欠損症 ・ファロ一四徴症</li> <li>・期外収縮(上室性/心室性)</li> <li>・心雜音 など</li> </ul> <p>※病名がはっきりしない場合、わかる範囲で記入します。</p> <p>(具体例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心臓に穴があいている</li> <li>・脈がとぶ など</li> </ul>
	●診断/治療を受けた病院名	<p>◇診断または治療を受けた病院名を記入します。</p> <p>◇はっきりしない場合、都道府県名のみでもかまいません。</p>
	●現在の状況:①②③	あてはまる項目に✓し、年月も記入します。

	質問項目	留意点
追加 2	質問C～FおよびHの内容につい て、今の状況をお尋ねします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心臓病手帳などの病院を受診した結果や記録などを手元に準備します。</li> <li>●お子さまの現在の状況を④⑤⑥から選び、病院名、年月も記入します。</li> </ul>



質問項目		留意点
④	詳しい検査は受けていない	◇何らかの異常な症状や指摘をうけたあとも、医院・病院で1度も診察や再検査を受けたことがない状況です。
⑤	詳しい検査や治療を受けて、定期的な診察が予定されている	◇すでに1度は病院を受診して、医師による診察・検査を受け、再受診するように指示されている場合です。 ◇次回の受診予定を決まっている範囲で記入します。
⑥	詳しい検査や治療を受けて、定期的な診察は不要と言われている	◇すでに1度は病院を受診して、医師による診察・検査を受け、その後の再受診はいらないと説明された場合です。 ◇最後に受診した病院名と受診年月を記入します。 ※最終受診で “今後も同じような異常を指摘されるかもしれません、心配いりません”と説明された場合も含まれます。 (具体例) 小中学校の検診で右脚ブロックを指摘されて、心房中隔欠損症がないことが超音波検査で確認された場合

ご協力ありがとうございました

《最後に今一度以下についてご確認ください》

- 質問A～Hの全てに「いいえ」または「はい」のいずれかに✓がある。
- 追加1への回答が指示された場合、詳細記入と、①②③のいずれかに✓がある。
- 追加2への回答が指示された場合、④⑤⑥のいずれかに✓があり、詳細記入もある。

以上で終了です

### 【参考】精密検査対象とする判定基準

調査票の評価方法:各質問のチェックボックス(□)横にある数値の合計で判定します。

コード数値合計	判定結果	
0～9	精密検査対象外	
10～99	生活習慣病による精密検査対象	かかりつけ内科等への受診を推奨
100～	心臓病による精密検査対象	循環器内科等への受診を推奨